

大坂峠の鬱蒼とした道が下りにかかる、やがて海が見える。この展望は江口の浜と違つて、自己主張の強い大島も、邪魔をせず右に避けている。相の島も左に避けているために、はるか大陸へと続く玄界灘の大海原を感じることが出来る。そのまま道を下ると勝浦集落の外れへと繋がる。かつてはこのあたりまで入り江になつてたといひ、船繋ぎ石が残されている。荒波を避けるには最適の錨泊地である。

万葉人は、この峠を通つて来た宗像大社の境内の石碑に歌が刻まれている。しかも時の人、大伴の旅人の妹の歌である。大社に行かれたら、是非ご覧頂きたい。

海を駆けた宗像族が、この景色を見ながら眠りたいと望み、世界遺産となつた多くの古墳が近くにあるのも、自然な思いだとの気がする。近くの宮地嶽神社の石室古墳も、宗像氏との深い関わりがあると言われている。つまり、この一帯が古代宗像族の中心地であつたと分かる。かつてこの新宮から昔屋に至る海岸の漂着物は、宗像大社に所有権が有つたという。宗像大社を要とする地域であつたのだ。「しいふむ」。九州場所ではな

い、新宮、古賀、福津、宗像の頭文字である。この辺りの行政が協力して、地域を振興させようとの連携団体の名前である。現在でもこの周辺地域の連携は行われている。この地域は、三町一村の5つの行政区で構成されていたが、平成の大合併の際2つの市となつた。

それぞれが違った魅力を持つた市として、独自の進化を遂げていて、切磋琢磨する様子も、好ましいものである。しかし、「宗像の心は一つ」と言われている。その当時から言えば、私の意識は先行合併中、道半ばである。いまさら国が進めた平成の大合併に物申す気はない。まして合理的化第一のそれを進めよとは、言わない。

だが、この地域の歴史を考える時、かつての大宗像に、心を一つにして盛り上げよう、と考える政治家は出ないのかと、真っ赤な海原の夕陽を見つめながら思うのである。 終り。



塩爺 かわべ けんじ 河辺 健治

1947年10月24日生まれ。大島で生まれ、大島で暮らし、ここで終わる。宗像高校、放送大学卒。元海上保安官、元漁師、元役場職員、元大島村長。現在塩爺

この世界にはロマンがある

漫画最終話！

決意の巻 ふらぐちゃんの



人気コラム最終話

島から見た宗像
ひととまちとの交差点Vol.08
春からのNEWスタッフ募集

宗像わらびもち むなかつ最中

引換券が当たる!!

詳しくはウラ面をご覧ください。



団体紹介コーナー／目からのうろこ！

居心地のいい居場所から生まれるもの

表紙イラスト／司馬さやか

Furagu News

春からのNEWスタッフ募集!!

ふらぐと一緒に作りませんか？

ボランティアライター募集

- 仕事内容** ふらぐのテーマに沿った地域の取り組みを取材していただきます。取材内容、担当箇所は相談しながら進めます。
- 条件** 年4号発行(6月、9月、12月、3月)に携われる方。1号につき2〜3回、平日昼間の会議に出席できる方。
- 対象** 20〜40代の方。まちづくりやデザイン、NPOなどに興味のある方。

ご応募・お問合せ先

宗像市市民活動・NPOセンター／TEL:0940-36-0311
Mail: info@pentagon67.com

むなかつのまちづくりに関わってみませんか？

NPOセンタースタッフ募集

- 仕事内容** メイトム宗像にあるNPOセンターで働けるパートスタッフを募集しています。地域に携わる仕事がしたい方のご応募をお待ちしています。

詳細はこちらよりご確認ください



宗像特産品 プレゼント

抽選で3名

Café & Lunch Smileにて食事をしたり「宗像わらびもち」・「むなかつ最中」をセットでプレゼント!

右記QRコードまたはURLからアンケートに答えていただいた人に抽選で、上記お土産セットをプレゼント! 5月頃に引換券を郵送します。

http://urx.space/jfnv



お店自慢の「宗像わらびもち」と、大島の塩とのコラボ「むなかつ最中」

Café & Lunch Smileは「お食事処 花木水」(東郷5丁目)の姉妹店で2019年5月に江口にオープン。空と海が広がるシーサイドエリアで、宗像の豊かな自然が育む素材を使ったランチと自家製の和洋折衷スイーツをお楽しみいただけます。



宗像わらびもち370円(税込)／むなかつ最中210円(税込)
Café & Lunch Smile(〒811-3502 福岡県宗像市江口564-5)
[営業時間] 11:00〜17:00 [定休日] 火曜 [問合せ先] 0940-22-8257

応募締切は2020年4月30日(木)。アンケートはこちら!!

¥0 TAKE FREE



PENTAGON 宗像

https://pentagon67.com

ふらぐバックナンバーはこちらから！
ふーちゃんの過去記事などもチェックできます。



団体活動を支援する
「市民活動・NPOセンター」と
メイトム館内施設の紹介

メイトム宗像にあるNPOセンターでは
市民活動団体に対してさまざまな支
援を行っています。市民活動や市の
取り組みについて知りたい方にはそ
れらを調べるためのコーナーも常設さ
れています。



情報コーナー



正面玄関から入ってすぐ左手、自動
販売機のあるコーナーです。市内で
活動する団体の情報がまとめられた
ファイルの他、宗像市内、福岡県
内、ユリックスでの催し物などの情報
が集約しています。

ボランティア情報・助成金コーナー

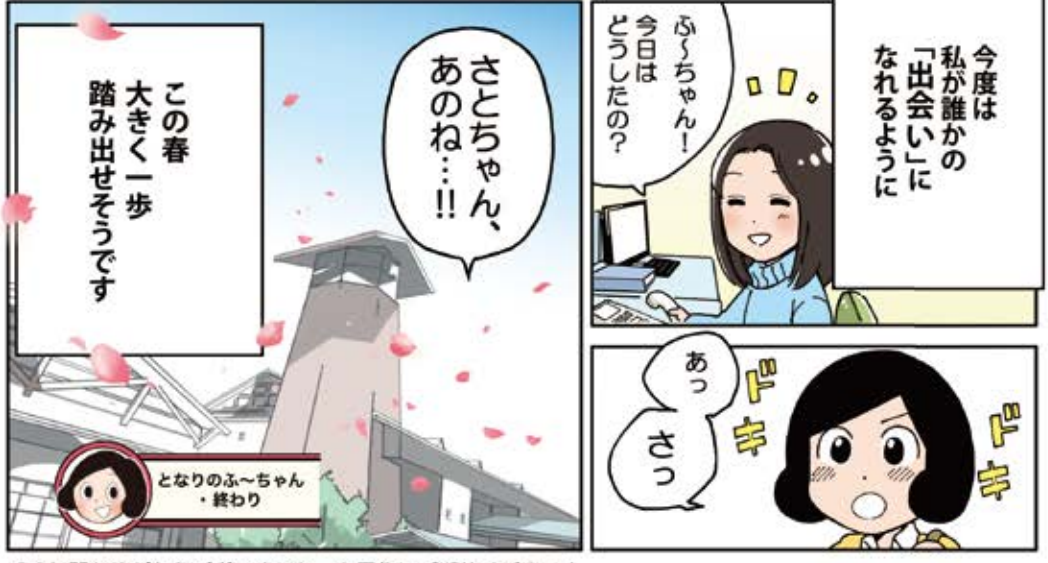
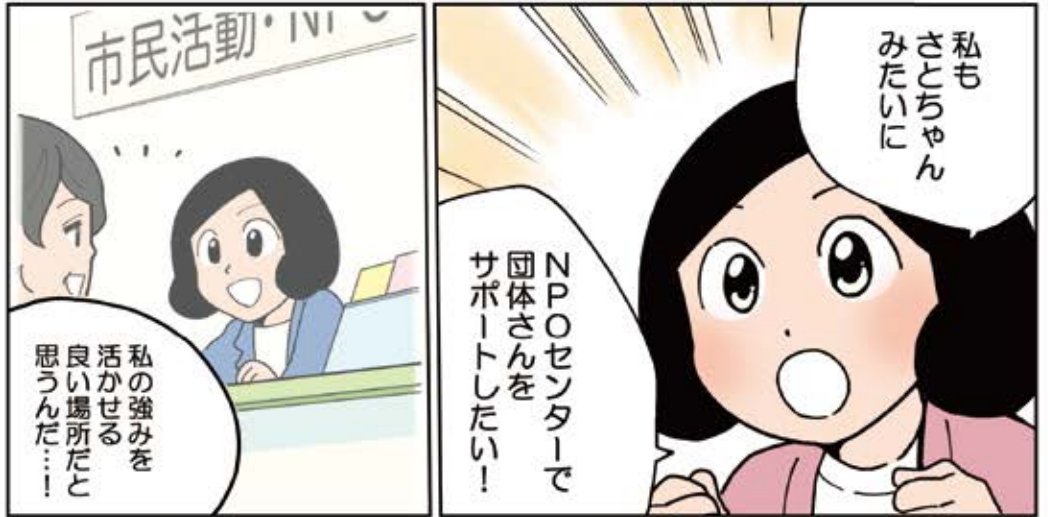


正面玄関から入って右手、NPOセ
ンターの前にはボランティアの募集
や助成金情報のコーナーがあり、随
時情報を更新しています。打合せな
どにはコーディネートスペースもぜひ
ご活用ください。

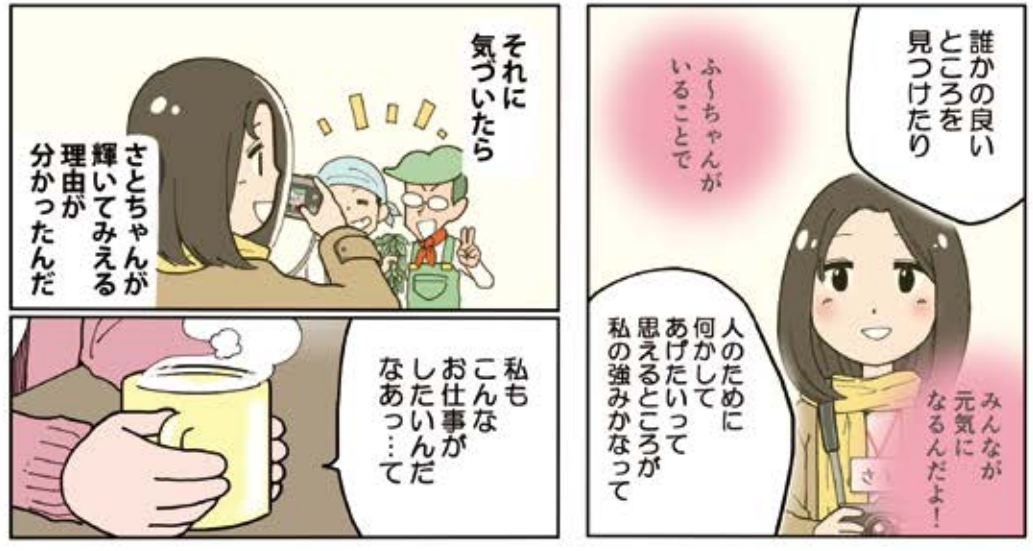
メイトム宗像の他の施設紹介については
ホームページをご覧ください。

メイトム宗像 館内施設一覧

「となりのふーちゃん」の過去話
はこちらから読むことができます。



●2年間ありがとうございました。次回作にご期待ください！



NPO
豆知識

宗像に住むふーちゃんとはどこにもいない職業主婦。
NPOのことを少しずつ知っていったふーちゃんが、
ついにやりたいことを見つけたようです。それは…？



最終話
ふ〜ちゃんの決意の巻



ひとまちの交差点

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。
その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきつかけを、
ふらぐ編集部がしきようが取材してきました。



ふらぐ編集部
しきよう

たかやま くにとし

高山 國敏さん

吉武地区コミュニティ運営協議会
事務局長



定年退職し、間髪入れずにその翌月から事務局長となつて早7年。さまざまな取組みを考え、現在は地域の高齢者の健康寿命をいかに伸ばすかを目下の最重要課題として今日も吉武を奔走している。

いつも笑顔で活動的。吉武地区について聞く
と地域愛と想いがあふれ出て止まらなくなつて
しまうその人は、吉武地区コミュニティ運営協議
会の事務局長、高山さん。その原動力や想いは
どんな背景から生まれているのでしょうか？

高山さん…事務局長になつて丸7年だけど、就任
した当初は外から見ると中でするのはやっぱり
全然違うなど。地域コミュニティは毎年同じこと
をやればいけないわけではなく、状況に応じた取り組
みを考える必要があるから、新規事業を始めた
り、場合によっては継続事業を縮小したりする
など試行錯誤の連続です。宗像市は「協働」とい
う形で行政と地域コミュニティがそれぞれ役割を
担いながらまちづくりを行つてるけれど、僕の場
合、県庁で働いていたときに培つた経験がかなり
役に立っています。市に支援を相談するのにいい
時期や話の通し方、最低限こちらがやっておくべ
きことなどがわかつているから、割と効率的に事
業を運営できていると思います。まだまだやれる
ことはたくさんあるけどね。

しきよう…高山さんにとって「コミュニティとはどん
なのですか？

高山さん…生まれも育ちも社会人になつてから
も、ずっと吉武。本当は実家の農業を継ぐはず
だったんだけど列島改造論のときに農園を手
放すことになり、縁あつて県庁に就職しまし
た。転勤で職場が久留米や豊前になつてもずっと
と吉武の実家から通勤していました。他の田舎
にも見られるように、吉武地区は平日仕事でど
んなに忙しくても週末は地域のソフトボール大
会や草刈りや祭りなんかに出ないといけない地
域性があるから、平日より土日の方がくたびれ
てたね。今の人たちはそういうのもだいたい難し
くなつてきているけど、当時はそれが当たり前。
大変だけど、いつも同じ顔ぶれが集まる安心感
もあつて地域の結束力は強いように感じます。
吉武はそういう地区なんだよね。

しきよう…高山さんを見てみると、生涯現役と
いう言葉がぴったりだなあと感じます。(笑)

高山さん…地域行事の準備を手伝ってくれた高
齢の方は意外にも「子どもたちと触れ合えて楽
しかった」と喜んでくれるし、最近は働き盛りの
お父さんが子どもと一緒に行事に参加する姿も
増えています。地域の行事を苦痛と感じるか地
域の強みと感じるのかは人それぞれで、こればつ
かりはやつてみないとわからない。コミュニティ運営
協議会は、なくても生活はできるし、生きていけ
る。だけどあつたらあつたで、よりよい生活や、さ
らに良い、充実した人生が送れるというものだ
と思います。自分だけではできないことを地域の人
達と協力することで実現させていく、そんな世界
かなと。



新立山を守る会



戸田山登山道整備



グローバルアリーナリレーマラソン

しきよう…地域への熱量は自然と培われていつた
ものなんです。事務局長になつて長いそうです
が、続けてみてどんなことを感じられますか？

高山さん…それができるのも宗像市のコミュニ
ティ構想とその仕組みが整っているからこそ。地
域に予算と施設と地域自治の権限を与えて、
自分たちの地域に責任をもたせること。それを
やらされるのではなく、住民自らが「何のため
に、何をするのか」を考えることができること。
この仕組みは他市町村にない、本当に素晴らしい
ものなんです。市民にこの素晴らしさをもっと
知ってもらつて、活用してもらいたいですね。

“あなたにとっての交差点は、
どこですか？”

“県庁に勤めたことが今に
つながっているかな。”





第19 っぶめ

子どもが小学校に上って
子育てに少し安堵してきたアンドウさんが
地域で取り組む活動を取材してきました。

居心地のいい居場所から 生まれるもの

行って
きました！

ふらぐ編集部
アンドウさん



背中を押してもらって実現した思い

社 会環境やライフスタイルの変化にともない家族がそろって食事をする機会が減り、子どもの“孤食”が増えているといわれている現代。母活クラブ MANA 代表の久藤さんは、地域の子どもたちが集まって一緒に食事をする「子ども食堂」に関心を持ち、数年かけて情報を集め、自分の住む地域に子ども食堂を作りたいという想いを膨らませていった。

「最初はその想いをなかなか口に出すことができず、自分の心の中にしまっていました。でも、思い切って当時勤めていた社会福祉協議会の職員さんに話してみたんです。そしたら『いいねなんでも相談して。協力するよ』と背中を押してくれました」。その言葉が自信につながり、行動をおこす大きなきっかけになったと久藤さんはいう。

2019年4月、「母活クラブ MANA」を結成。現在、団体スタッフとともに「寺子屋子ども食堂」を月1回ペースで開催し、子どもたちの居場所づくりと食事の提供を行っている。

中高生のお母さんたちの 交流の場をつくりたい

すごい！



経済的な理由で制服の購入が難しい、子どもの成長で制服が小さくなった、他校からの転校で制服を購入しないといけないなど、さまざまな理由で制服を必要としている人がいる。一方で、まだ充分着られる状態のきれいな制服をやむを得ず処分している人がいる。団体では、高額な中高生の制服購入の負担を減らすため、不要になった方から制服を譲ってもらい、必要とする方の手に渡す「制服リユース」活動も行っている。そして、この活動を制服の受け渡しだけで終わらせるのではなく、「制服リユース MANA cafe」として月1回カフェも同時開催している。「宗像市では中高生のお母さんが集まって話したり情報交換したりする

場は意外と少ない。学校のこと、部活のこと、受験のこと。中高生の子どもの持つお母さんならではの悩みや知りたい情報ってあると思うんです。制服をひとつのきっかけに、お母さんたちが美味しいコーヒーを飲みながら交流できる場になっています」と久藤さん。

スタッフにとっても居心地のいい場所

ふむふむ



スタッフの中には、仕事をしていたり子どもに手がかかったりと、なかなか活動に参加できない人も多い。「子どものお迎えの時間までなら手伝いにきてくれる方もいれば、手伝いには行けないけどお菓子をいっぱいもらったからと差し入れをしてくれる方もいます。今の自分が『これならできる』と思えるその人なりの活動をしてもらえたらそれで充分なんです」と久藤さん。

子ども食堂に食事作りのサポートにきていた女性スタッフは「ここにくると普段なかなか知り合えない方たちと話すことができるんです。子育てのことを相談したり、自分の知らない地域の情報を教えてもらったり。それが楽しくて」と話す。スタッフ同士の交流も団体活動の大切な目的だと久藤さんはいう。「家庭環境も年代も異なる人たちが気軽に集まって気持ちよく活動する。スタッフにとっても居心地のいい場所にしたいんです。そして、こういった交流をきっかけに一歩踏み出す方が出てきてくれたらうれしいですね」。団体の活動が誰かの背中を押すきっかけになることを久藤さんは願っている。



会話をしみながらの食事作り



月1回の寺子屋子ども食堂

プロフィール 母活クラブ MANA 代表 久藤 幸さん

熊本県天草市出身。宗像市役所子ども育成課、社会福祉協議会での職場経験から、地域に子どもの居場所・母親の居場所をつくりたいと、子育て世代のお母さんたちを中心に「母活クラブ MANA」を立ち上げる。「寺子屋子ども食堂」「制服リユース」の最新情報は団体のFacebookページ参照。



ご家庭で不要になった制服をおゆずりください

制服の回収は以下の場所で常時受け付けています。
○エフコープ自由ヶ丘店 インフォメーション
○宗像市社会福祉協議会（メイトム宗像2F）
※宗像市内各中学校・通学圏内高等学校の制服・体操服・指定バッグ。体操服は洗濯をお願いします。

今回の取材も
勉強になりましたか？

